

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|--------------------------|--------|-------|-----------|--------------|
| 団体名 | 松阪市 | | | 代表者名 | 竹上 真人 |
| 担当者部署(属性) | 企画担当 | 担当者部署名 | 市政改革課 | 連絡先電話番号 | 0598-53-4363 |
| 担当者役職 | 行革DX係主任 | 担当者氏名 | 上村 州史 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | | | |
|-------|--|---------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | | | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|---------------|-----|----------|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（単独） | 事業名 | DX人材育成事業 |
| 概要 | データ利活用研修 | | |
| 支援を求める分野 | オープンデータ EBPM | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|---------------|--------------|------------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和6年7月19日 | 支援・助言(実地) | 10時30分 | 16時00分 | 60 |
| | | | 活動時間（分） | 270 | |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | 松阪市役所 | 最寄駅 | 松阪 | |
| | 所在地 | 松阪市殿町1340番地1 | 最寄駅からの交通手段 | 三重交通バスまたは徒歩 | |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|---------------------------------|--|
| アドバイザー | 新井 千乃 |
| 評価 | よい |
| 上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に) | ワークショップの成果を「データ」として視覚できるように加工、分析いただいた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | | |
|----------------|-------------------------|-------|----|-------|-----------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 合計人数 | 2人 | | |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 | その他(学生など) |
| | 人数 | 2 | | | |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|---------------------------|--|
| 事業の課題・問題点 (具体的に記入下さい) | データ利活用に対する意識の向上。具体的には「個人情報」に対して過度に保護するだけでなく、政策立案や課題発見に庁内データなどを活用しようとするマインドの醸成と活用するための基本的なルールを理解を促めることが課題となっている。 |
| 支援により目指す成果 (具体的に記入下さい) | 官民データ利活用推進の基本的な理念と個人情報保護法の改正趣旨等を理解する。庁内におけるデータを必要な範囲でシェアすることで新しい価値、発見が可能になることをしり、庁内のデータを活用する機会を求めるようになる職員が増える。(EUC機能の活用機会増加) |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | 民間データ等の利活用における留意点やデータの所有権等について基礎知識について説明をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | 公開データとオープンデータの違いなど、身近なテーマを用いてワークショップを行い、シェアデータの意義、意識を深めた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| | ⑦具体的な成果物はできていない | |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 可視化したグループワークの結果から、庁内データの活用に関する意識づけができた部分が確認できた。今後の、BIツールなど実際に現場の職員が利活用できる環境を構築していく。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 9割以上が講義及びグループワークを有意義と感じている | |
| 4-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ②次年度に予算化を図り推進する |
| | 庁内利活用の機運醸成とともに、データ利活用のための基盤、ツールの調達を推進する | |
| 4-4. 事業の最終的な目指す姿 | 職員の庁内データへのアクセシビリティを高め、数値に裏付けられた政策立案、政策評価をできるようになること | |

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成果につ
因(自治体側に内在していた成

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

